

独立行政法人国立病院機構 南岡山医療センター 岡山県早島町

【贈呈理由】 ヒートポンプと蓄熱システムの有効活用により大幅な省エネを実現



南岡山医療センター

地域の皆さまの心身を癒す 18科400床の総合病院

独立行政法人国立病院機構南岡山医療センターは、岡山県倉敷市から東へ8km、早島町の王山(おうやま)丘上に位置し眼下に早島・興除(こうじょ)・藤田、遥かに児島淡水湖を眺望する良好な自然環境の中にある。1938年に傷痍軍人岡山療養所として開設し、当初は結核診療所として出発。その後、結核医療の進歩もあり結核病棟を縮小しながらも一般医療の充実を図り、80年に国立岡山療養所から国立療養所南岡山病院となり、2004年に現在の南岡山医療センターとして発足した。「ゆるぎない信頼、心からの満足」を理念とし、人としての尊厳を重視したうえで、地域の皆さまが安心して心身ともに癒される医療を受けていただけるよう職員一丸で取り組んでいる。

現在は、リウマチ、アレルギーの診療機能の充実を図ることで他の医療機関との違いを追求するとともに、感染症法・救急医療告知病院等の指定を受けた18科、

400床の総合病院である。

省エネ・省CO₂・省コストに優れた施設を実現

このたび、利用者の療養環境改善の観点から、老朽化した重症心身障害病棟、中央病棟、外来管理棟、外来棟のリニューアルにあたり、07年のⅠ期工事において、増設した重症心身障害病棟へ床暖房を取り入れたことが、新たな施設の熱源を考える参考となった。従来使用していた機器と比較検討し、環境性、経済性を考慮したところ、ヒートポンプ空調、電化厨房を採用。加えて、給湯にはCO₂排出量削減とランニングコスト・メンテナンスコスト低減に優れた、環境にやさしい業務用エコキュートを採用した結果、オール電化病院となった。

業務用エコキュートの導入による昼間の最大電力の抑制や、電力負荷の平準化とともに割安な夜間電力を利用することでランニングコストを抑えることができています。また、電化厨房の採用は衛生的かつ快適な作業環境を実現している。

今後、専門知識と技術を磨き安全で質



業務用エコキュート

の高い医療の提供と、運営コスト低減との両立を目指していく。

独立行政法人国立病院機構 南岡山医療センター

所在地: 岡山県都窪郡早島町4066
建築設計: (株) 中林建築設計
建築施工: (株) 鴻池組 広島支店
蓄熱設備設計: (株) 中林建築設計
蓄熱設備施工: 新菱冷熱工業(株) 岡山営業所
延床面積: 30,599㎡
竣工: 2015年(更新)

■蓄熱設備概要

顕熱蓄熱式電気床暖房 54.52kW[サンサー工業]
敷設面積: 217.84㎡
業務用エコキュート 40kW×4台[昭和鉄工]
貯湯槽: 15㎡
業務用エコキュート 40kW×6台[昭和鉄工]
貯湯槽: 12㎡×2基
業務用エコキュート 40kW×1台[昭和鉄工]
貯湯槽: 6㎡